



これから就職を考える高校生のみなさんに
働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働くって、
楽しい!

▶ PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラコウ！

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。そんな建設・土木業界で働く若者たちにスポットを当て、働くことについて

インタビューしました。

今回は(有)桂田工務店の渡部 真之介さんです。

PROFILE

わたべ しんのすけ

渡部 真之介さん(21さい)／(有)桂田工務店

幼少時から高校まで野球に没頭し、体を動かす仕事に憧れて大工を志す。高校卒業後は北海道立釧路高等技術専門学院建築技術科に進学し、その後(有)桂田工務店に入社。現在は釧路高等技術専門校木造建築科にも通い、さらに技術を研鑽中。第54回技能五輪全国大会北海道代表に選出!



Q.01

どんな仕事をしていますか？
建築の道に進んだきっかけは？

大工として主に一般住宅の建築やリフォームを行っており、毎日各地の現場で忙しく働いています。この仕事に就いたきっかけは、小学3年から高校までずっと野球をやっていて、体を動かす仕事に就きたかったから。その中でも大工は特にカッコイイと思ったんです。中学校の授業で小物入れを作ったときも楽しかったので、「体を動かせてモノも作れるなら」と大工の道に決め、高校卒業後は大樂毛にある釧路高等技術専門学院の建築技術科に進学しました。

Q.02

0.02

仕事の魅力は
なんですか？

大工を目指す若者に一言！

桂田工務店がつくる家は「自然の木の良さを活かした家」を目指しているので、羽目板などの木をお客さんの目に直接触れる形で配置することが多いんです。そういう「目に見える木」を丁寧に切りこんで、きれいに仕上げている時は楽しいですね！ 完成した家を見たお客様から「味わい深い木だね」と褒めてもらえると本当に嬉しいんです。この仕事はモノ作りが好きな人であれば、未経験者でも全く問題ありません。技術は後からついてきますし、練習して腕が上がるたびにどんどん仕事が楽しくなっていくと思いますよ！

My 装備品



釘袋

げんのう
折り込みノコ、玄翁、墨つぼ、釘締め、スケールなどお気に入りの道具をたっぷり収納した“腰道具”が必需品。腰に巻くと「やるぞ！」という気にさせてくれます。

インタビューの内容は、WEBサイトにてご覧いただけます！

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南 7 丁目 2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

WEBサイト <http://www.hatara946.com>

※釧路市受託事業 「職」の再発見事業

